

交渉情報	NO.55	信越支社（郵）オペレーション部・(局)業務部
JP労組 信越地方本部	2014年4月17日	添付資料:2枚

郵便窓口とゆうゆう窓口の一本化の取組について

日本郵便株式会社信越支社は、本日（4月17日）「郵便窓口とゆうゆう窓口の一本化の取組」について地方本部に説明してきました。

分社化後、郵便窓口とゆうゆう窓口を会社別に運営していたことにより生じたお客さまの不安を解消するため、会社統合時（2012年10月）に全国52局で窓口の一本化を試行（信越では長岡局・長野南局の2局で試行）していましたが、これを全局で実施するというものです。

なお、詳細については添付の支社資料を参照して下さい。

1. 施策概要

- ・ゆうゆう窓口で行っている不在留め置き郵便物等の交付等を、郵便窓口の取扱時間中は郵便窓口で実施。
- ・旧集配センター併設局では実施しない。
- ・窓口一本化は、自局の状況を勘案して三方式（①一人完結方式、②取次方式、③隣接方式）を選択。

2. 取組内容

- （1）自局の窓口業務量及び施設状況等を踏まえ、一人完結方式を基本として、三方式の中から、自局に合った方式を選択。ただし、交付窓口と郵便物等の保管場所が相当に離れている等を原因として、お客さまの利便性の低下が懸念される場合は、実施しない理由等を支社へ報告。
- （2）工事の要否の確認等 動線確保のための間仕切り等の撤去又は移設等の工事の要否を判断し、支社へ報告。
- （3）実施希望日の検討 自局の実施希望日を決定（実施希望日を支社へ報告）
- （4）窓口一本化準備 社員に対する業研の実施、お客さまへの案内文掲出及び誘導サイン等の変更。
- （5）一本化の実施 窓口一本化の準備が完了した郵便局から順次実施。

3. スケジュール

- 4月17日 単独マネジメント局長会議
- 5月 9日 支社報告（方式選択、工事の要否、実施希望日等）
- 5月中旬以降 準備でき次第実施

労使対応は窓口説明としましたので、概要の説明を受けるとともに、職場の意見をまとめて意見交換を行い単局窓口に望むことを要請します。

地本では、一人完結方式を基本とするとしているが、実施しないことを含めあくまでも自局にあった三方式から選択すること、ゆうゆう窓口で働く社員の安易な雇用調整を行わないこと、社員に対する業研を確実にを行うことを要請しました。

また、実施にあたり郵便携帯端末機を増備することを確認しました。

問題等が生じた場合は地本まで連絡願います。

【労使対応】 窓口説明